

指輪型ロボットの開発

チーフクリエイター：尾形 正泰

一指に装着するコミュニケーション・ロボット，エンターテインメント・ロボットー

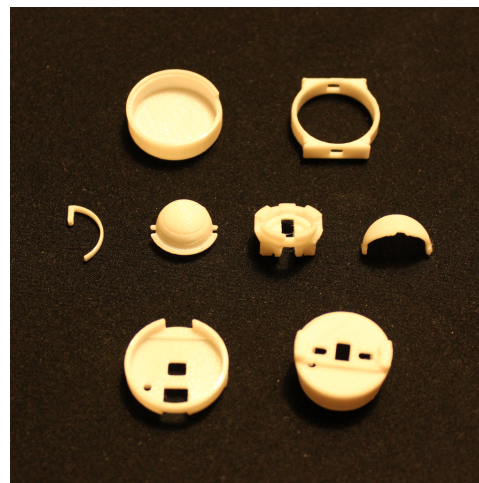
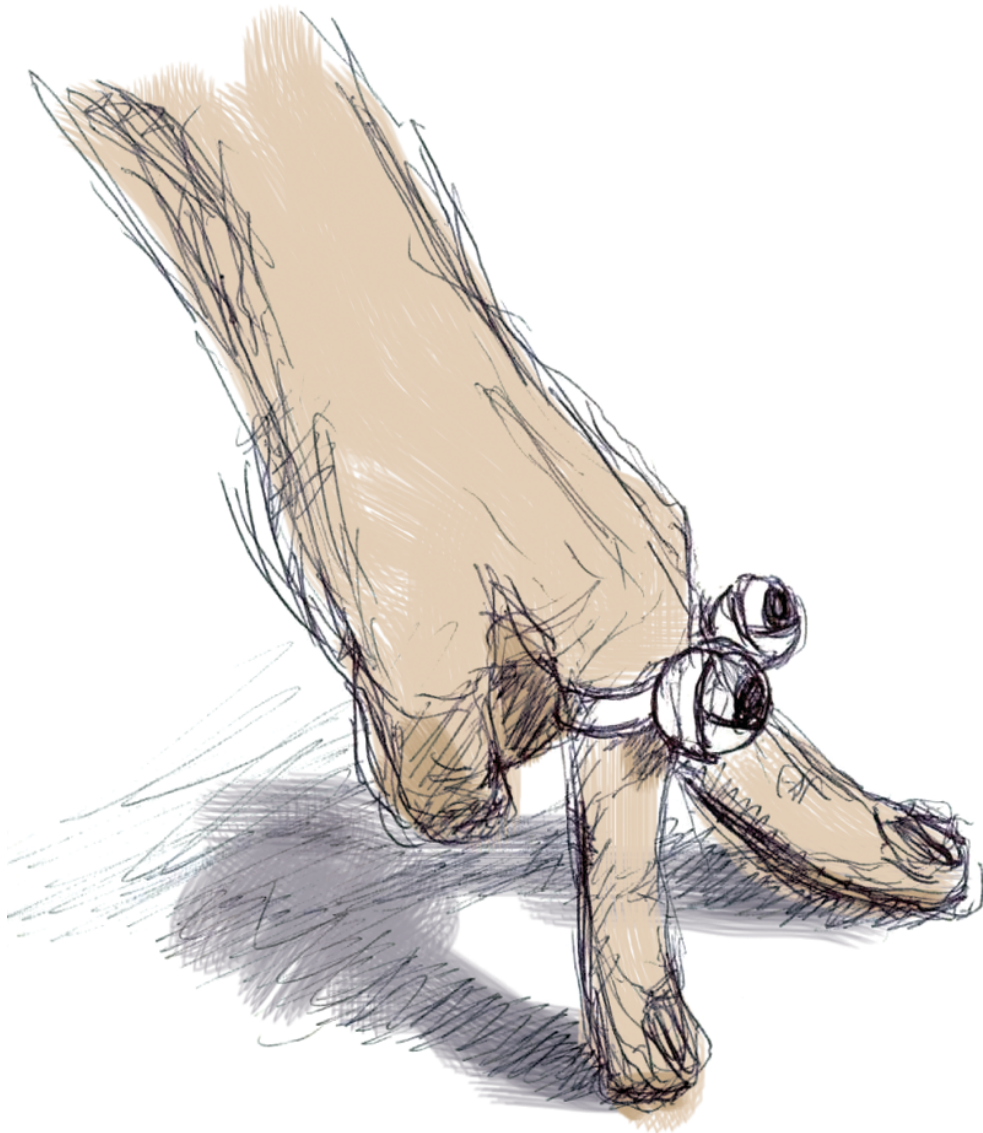
手は現実世界を知るためのインターフェースであり，創作の道具でもある。
ハンドパペットや影絵によって，人々の創造性や表現力をかき立てる。

指輪型ロボットは，

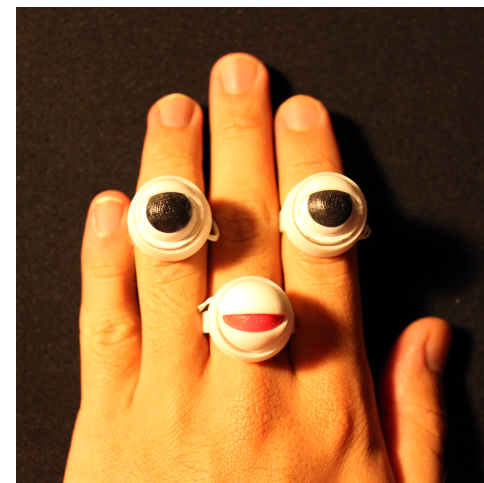
- ・ 指を曲げ，組むことで表現できる複雑な形に適応
- ・ 指にすぐ装着できる簡便さ
- ・ 指の動きに合わせた表情の変化

を目標に開発された。

指遊びのコミュニケーションやStorytelling（子供の創造性促進）
といった場面で使用することができる。



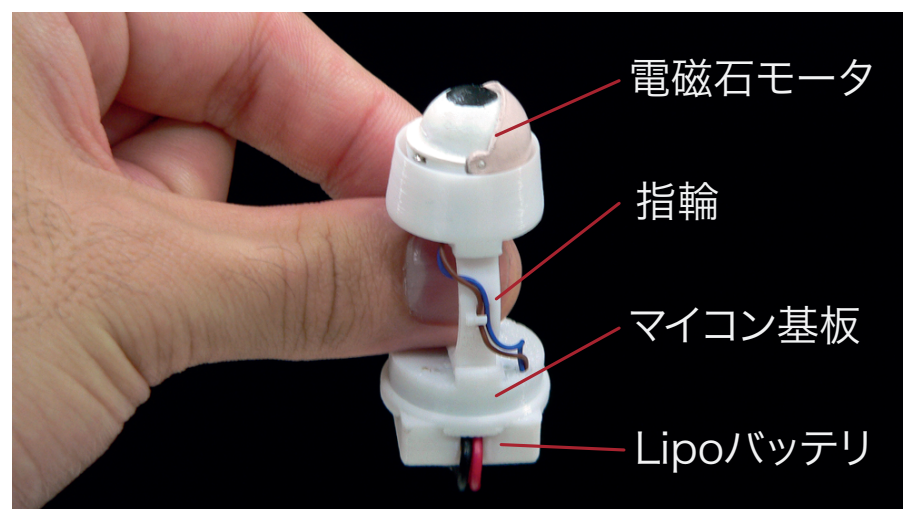
CADによる設計



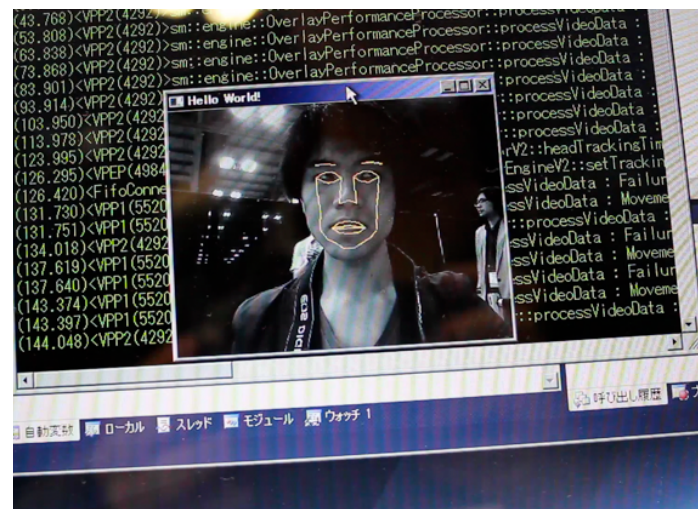
擬人的な表情



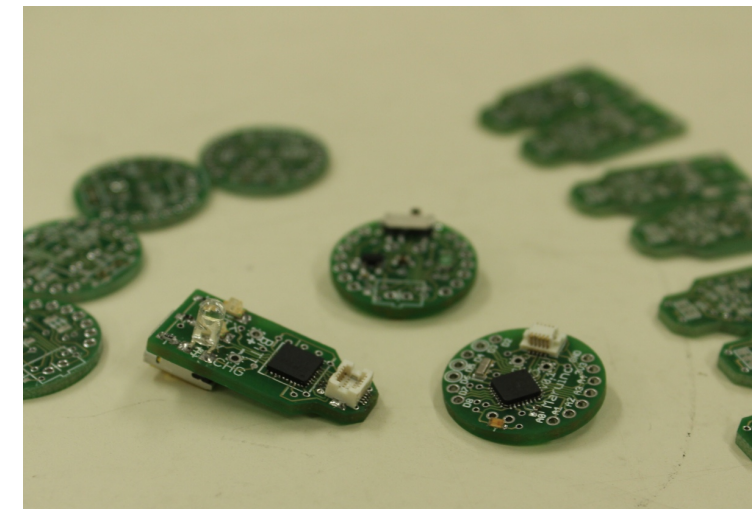
円形基板を設計



指輪型ロボットの
ハードウェア構成

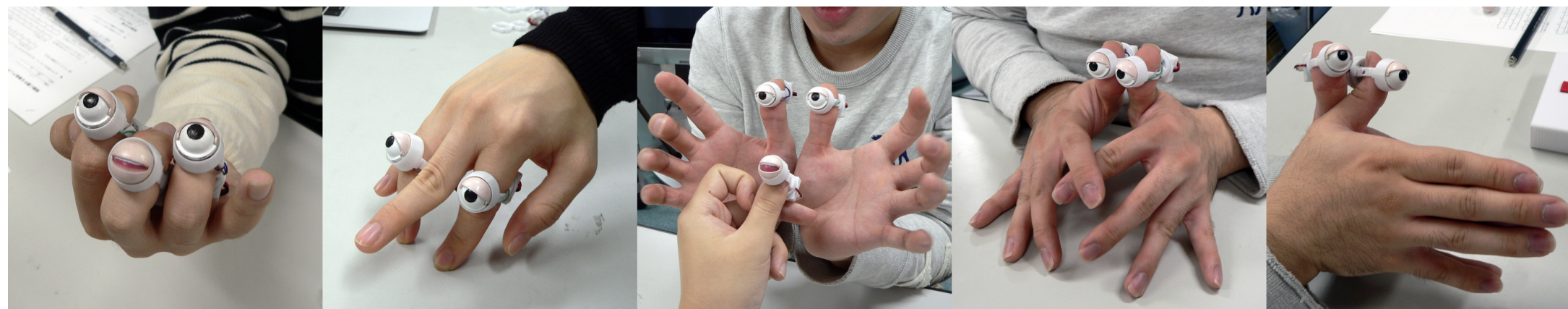


テレコミュニケーション用
アプリケーション



大量生産向けに再設計した
汎用の小型マイコンキット

人間の身体に張り付き，人間の動きやパフォーマンスに合わせたロボットを制作した．①新たなジャンルのエンターテインメント・ロボットの創造，②小型ロボットの技術とアプリケーション拡充の促進，③自身の身体に遠隔の会話相手を投影するテレコミュニケーションのためのウェアラブル・ロボット，④手に装着するウェアラブル・ロボットがもたらすユーザ体験を提示した．



指輪型ロボットによるキャラクタ表現のユーザーテストの風景 (Storytelling)